

研究課題：小児急性リンパ性白血病における大腿骨頭壊死の後方視的検討

1. 研究の目的

急性リンパ性白血病に対する治療終了後の大腿骨頭壊死の頻度ならびにその予後について、後方視的検討を行う。

2. 研究の方法

2003年6月から2017年5月までの間に初発の急性リンパ性白血病の入院治療終了後に大腿骨壊死のスクリーニングのために大腿骨MRIを撮影した158名。

3. 研究期間

倫理委員会承認を得られた日から2022年3月31日。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を用いる。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

学会発表や論文として匿名化された上で公表される。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 副部長 荒川ゆうき

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年9月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）